



あつぎこどもの森クラブ

くぬぎ便り

第21号

いきものガイド（自然プロジェクト）

主に子どもたちを対象に自然観察や図鑑での調べ方などサポートする活動が昨年7月から始まりました。当初【こどもの森探検隊】という名称でしたが、本年3月から【いきものガイド】と名称変更しました。学生は主に東京農業大学の人たちです。当面は毎月第1、第3日曜日の午後です。

1月からはワークショップ的なこともしようと、最初の企画で「落ち葉のお絵かき」を始めました。何種類かのいきものの輪郭を書いた画用紙を用意しこれに落ち葉などを貼り付けて完成させるものです。小さな子ども達にはかなり人気でした。写真の（右下中）は用意した見本です。

2月には朽ち木の中の虫探しもしました。今後様々なメニューを用意した活動を進める予定です。



たくさんの子供たちが興味津々で集まってきました。



落ち葉でアートな作品を作ろう



落ち葉でアートな作品の見本



朽ち木の中の虫探し

稲作と生物多様性

長く放置されていた無道谷をこどもの森公園の生き物の重要な生息地として位置づけ、開園前から稲作の試験栽培を行うなど谷戸田の復活を目指して来ました。これまで野生動物に悩まされ続け、苗を植え付けた田の全周を防護ネットで囲ったことで昨秋は被害を受けずに米を収穫することができました。農薬を使わない田の周辺には様々なトンボやイナゴが数多く飛び交う良好な環境を創出できるようになり、準絶滅危惧種「カヤネズミ」、絶滅危惧種「ミスオオバコ」の生息も以前にも増して確認できるようになりました。

カヤネズミの生息状況

昔の田んぼ跡にカヤネズミが営巣する状況は、開園2年前からススキやオギに少数ですが確認されていました。田2-1でも開園1年前2015年の稲作試験栽培で18個が見つかり、営巣の場所として稲作が重要であることも認識できました。この時には営巣位置までは把握しておりませんでしたので、今回は稲刈りをしながら稲株の位置情報(メッシュ約1.8m×1.8m)と重ね合わせて調査し、営巣の状況を継続調査していくことにしました。調査には3プロジェクトのメンバーに加えて水辺の生き物調査隊のメンバーも加わって行いました。

カヤネズミは夜行性のため日中姿を見る機会は少ないのですが、イネ科の植物の葉を編んで丸い巣を稲株の間に浮いているようにつくっています。

昨年の収穫時に行った調査の結果は表1、表2の通りです。営巣が実際に繁殖に使われたかどうかは確認できませんが、数が多いことは彼らにとって安全な営巣場所であることの証ではないでしょうか。



10月3日 稲刈り



10月3日 稲刈り



カヤネズミの巣

表1 田1-5 カヤネズミの巣の数 12個

(面積 120㎡、10m×12m、2021年10月3日調査)

	A	B	C	D	E
3					●●●
2	●	●●	●		●●●
1	●			●	



カヤネズミの巣

表2 田2-1 カヤネズミの巣の数24個（面積414㎡、18m×23m、2021年10月24日調査）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	●											
2	●●		●					●	●	●●		
3	●		●						●	●		
4	●		●									
5			●			●				●		
6					●	●		●	●			
7								●				
8												
9	●		●									

ミスオオバコ

絶滅危惧種のミスオオバコは試験栽培の時点で確認されていましたが、稲作をやめると発生しないので、代掻きなどでの土の攪乱が必要かと考えられます。

現在、田2-1のみで見られます。



カヤネズミの巣の株元にひっそりと咲くミスオオバコ



2021年のミスオオバコ



2021年のミスオオバコ



2017年に咲いたミスオオバコ

あつぎこどもの森公園・きょうこのごろ



11/3 あつぎこどもの森フェスタ



12/19 霜ばしらに耐える麦



1/9 落ち葉掻き



2/10~14 さがみ自然フォーラム
5/19迄 VR 視聴可



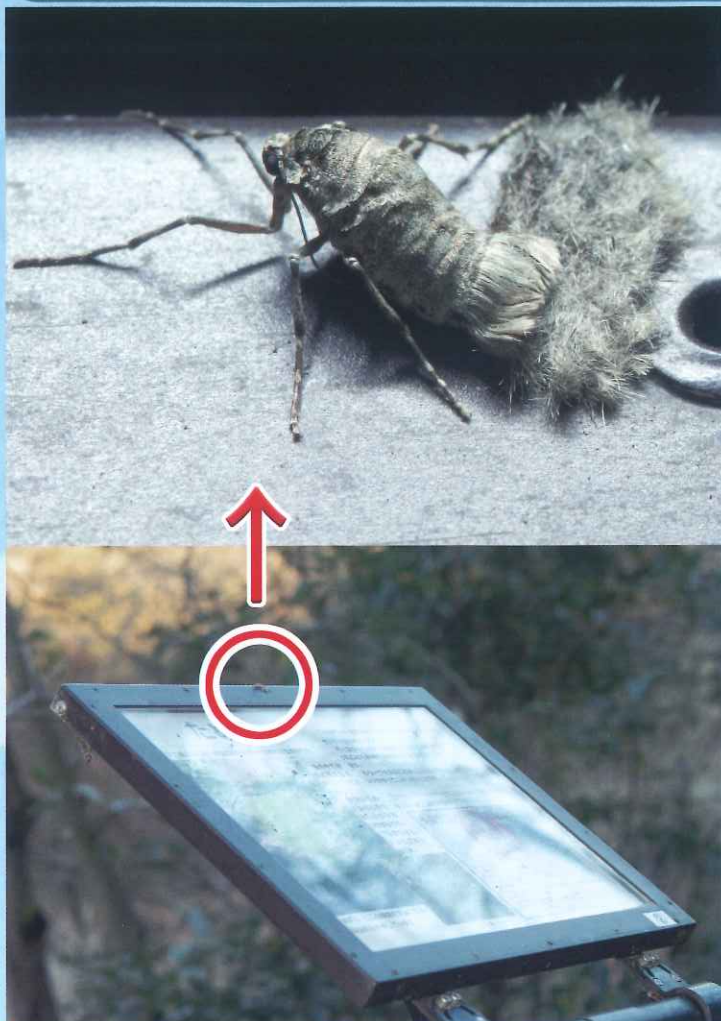
3/12 シイタケの植菌作業



3/20 ジャガイモの植え付け

コラム；あつぎこどもの森公園の自然

この欄ではあつぎこどもの森公園で見かける自然界の動植物についてその特徴や生い立ち、効能など解説していただきます。また見方を変えたり、ミクロの世界をとらえた「あっと驚くふしぎ大発見」なども掲載して参ります。



フユシャク

1月上旬のある日、公園の空中回廊の手すりに設置されている解説用ボードの上に、わずかに動く1cmほどの昆虫がいました。実はこの虫はフユシャクと呼ばれるガの成虫です。フユシャクはチョウ目シャクガ科の中でも冬にのみ成虫が活動する一部の種に対して付けられる通称です。

フユシャクの最大の特徴は冬に活動する点と、メスは成虫でも翅が生えない、もしくは退化している点です。この写真に映っているシロオビフユシャクのメスも翅が完全に退化しており飛ぶことはできません。また、口も無いため他のガのように花の蜜を吸うこともできません。幼虫の間に蓄えた栄養が尽きた時点で餓死してしまうのです。

オスも口はありませんが、翅と大きな触覚を持ち、その触覚を使ってメスのフェロモン(匂い物質)を感知し飛んできて交尾を行います。写真に写っているように、交尾を終えたメスは卵を産みます。写真中央の絨毯の様な物体は自身の毛で、これを卵の上から被せることで外敵から見つかりにくくします。産卵を終えたメスはしぼんで絶命してしまいます。外敵が少ない冬に羽化し、最短の期間で子孫を残すフユシャクの戦略に驚かされます。

写真と文責 ナカノ ジュンゴ

体験イベント日程

4月29日にスプリング フェスタが開催されます。あつぎこどもの森クラブでは以下のイベントを実施しますので感染症予防対策をしっかりとってご参加ください。
*印は予約イベントです。

1、農業 PJ	*ひまわりの種を播こう	11:00/13:00	第一農園
	*クワを使ってみよう 囲炉裏・かまどの実演	10:00~12:00 10:00/13:00	第一農園 作業小屋の多目的室
	*炭化器で炭を作ろう	13:00~15:00	第一農園
2、自然 PJ	*草木染とミニ観察会 ネイチャーガイド	9:30 ~11:30 10:00~11:30	作業小屋前広場 管理棟前
	水辺の生き物展	10:00~15:00	管理棟
	*シイタケ植菌	9:30 ~10:30	作業小屋前広場
3、冒険 PJ	薪割り体験	9:30 ~12:00	作業小屋前広場

イベントの日程・内容は天候、生育状況などの影響で直前に変更になる場合があります。
参加前に必ずホームページなどで確認してください。

電話：046-210-3433

受付時間 4月~9月 9:00~17:00

メール：info.atsugikodomonomoriclub@gmail.com

HP：<https://atsugikodomonomori.com/>

くぬぎ便り 第21号

発行：2022年3月31日

編集 制作 あつぎこどもの森クラブ 広報

発行責任者 井上 允

事務局 〒243-0202 神奈川県厚木市中荻野916-2

あつぎこどもの森公園管理棟

TEL 046-210-3433